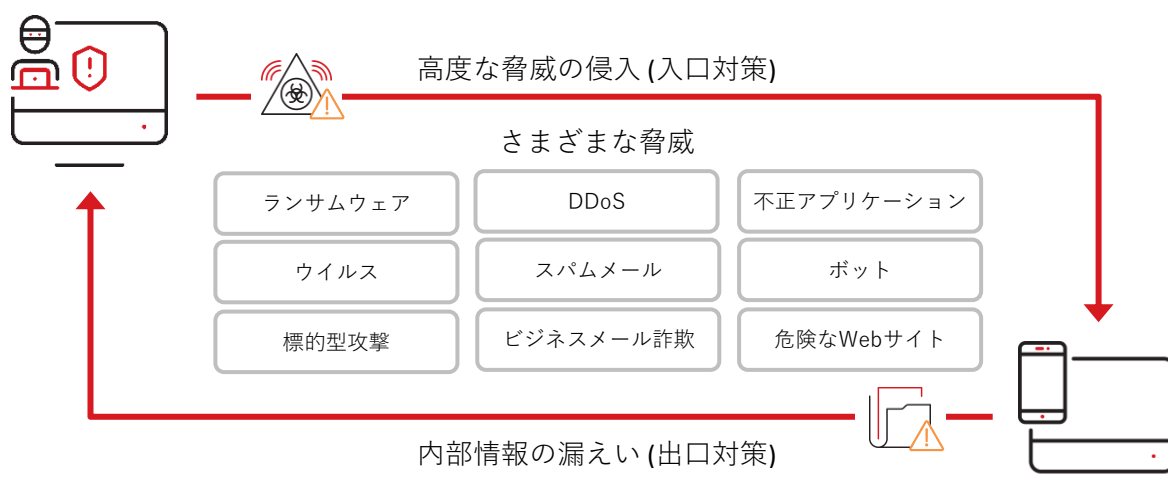


インターネットの出入口対策で中小企業のセキュリティを強化

Cloud Edge™

中小企業が必要なメールやWeb経由の脅威対策ができるセキュリティ製品を
運用経験豊富なMSP(Managed Service Provider)よりサポートサービスも含め
ご提供いたします

- お客さまの課題
- ・セキュリティ製品を正しく運用できる高度な知見をもつ人材の不足
 - ・クラウド利用の拡大含む、インターネットの業務活用が当たり前になっているが、十分なセキュリティ対策がとれていない



クラウドを活用し、高いパフォーマンスとセキュリティ機能を両立した機器の運用をプロに任せ、
自社で高度なセキュリティ知見を持つ人材を雇用することなく運用可能



手間をかけずに高度なセキュリティ対策を実現

Cloud Edge の特長

多機能なセキュリティを この一台で

本製品の本体とクラウドスキャンサーバを連携することで、メールやWeb、ネットワークなどさまざまな経路で侵入してくる脅威に対して素早く検査・防御することができます。

マネージドサービスによる 提供

導入設置、初期設定や導入後の運用監視はすべて信頼と実績のある販売パートナーがマネージドサービスプロバイダーとして対応しますので、お客さま自身での作業は必要ありません。

ハイパフォーマンスな 処理性能

脅威に対する検索処理を本製品の本体とクラウドスキャンサーバで分散して行うことで、ネットワーク遅延を最小化しながらも高い防御性能をご提供します。

セキュリティ機能専用アプライアンスの高いパフォーマンス

ファイアウォール スループット

最大 5.0 Gbps

ファイアウォール+ウイルス対策 スループット

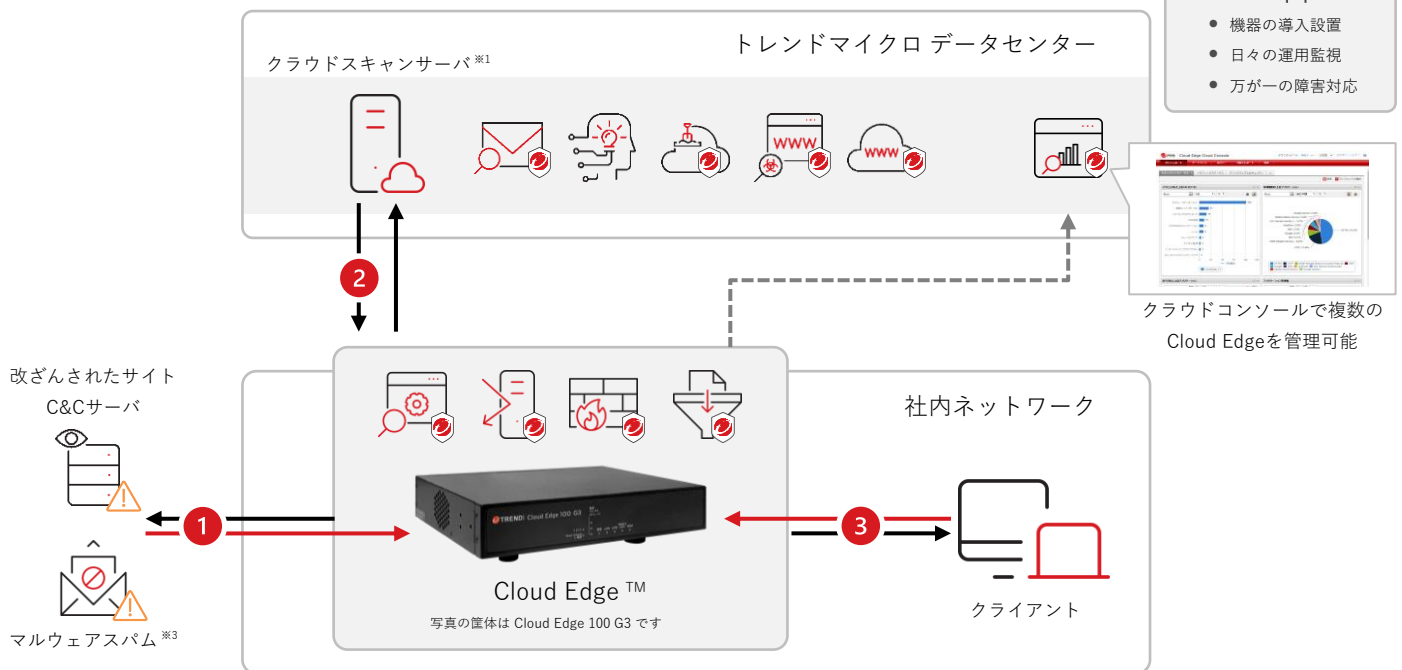
最大 1.2 Gbps

※ Persistent Connectionを利用した環境での測定

※ Cloud Edge 100 G3の場合

マネージドサービス
プロバイダー ※2

- 機器の導入設置
- 日々の運用監視
- 万が一の障害対応



- ① ファイアウォールやIPS 機能、メールセキュリティ対策により社外からの脅威をブロック
- ② クラウドスキャンサーバを使ってリアルタイムで軽快な検索処理を実現
- ③ C&Cサーバとの通信を遮断して遠隔操作による情報の流出を防ぐ

※1 クラウドスキャンサーバはクラウド型セキュリティ サービスです。トレンドマイクロがWebアクセスセキュリティと機械学習やサンドボックスを用いたメールスキャンをクラウド上で提供し、Cloud Edgeの機能として利用します。

※2 マネージドサービスプロバイダーごとに提供しているサービスメニューや価格は異なります。詳細は購入元のプロバイダー（販売パートナー）へご確認ください。

※3 マルウェアスパムとは不正プログラムの拡散を目的としたスパムメールです。

主要な機能一覧

メールセキュリティ機能 ^{※1}

機能	詳細
メールセキュリティ対策	クラウドスキャンサーバと本体側の検索エンジンを利用し、不正プログラム付きメール、スパムメールをブロック。
機械学習型検索 (添付ファイル)	メール攻撃で侵入する添付ファイルに対してAI技術を利用して、特徴を基に判断することで、従来の検出技術では検知できなかった未知のマルウェア ^{※2} にも迅速に対処することが可能。
クラウドサンドボックス	不審なメールの添付ファイルを必要に応じてトレンドマイクロが管理するクラウド上のサンドボックスで実行し、ふるまいを解析できる動的解析機能を提供。標的型メール攻撃への対応をより高度に行うことが可能。
コンテンツセキュリティ	ヘッダ、本文および添付ファイル名用のフィルタ文字列を設定する場合、キーワードと正規表現を任意に組み合わせたフィルタが実行可能。また、マイナンバーフィルタとして社会保障・税番号制度の施行に必要とされるフィルタを実行可能。
E-mailレピュテーション	スパムメール対策としてE-mailレピュテーションを使用。動的レピュテーションデータベースに加え、受信メールメッセージのIPアドレスを検証し、新しいスパムメールおよびフィッシングの送信元を特定し阻止。

※1 1万通/日以上メールスキャンを実行することが予想される場合は、事前に取り扱い販売店にご相談ください。

※2 すべての未知のマルウェアに対応するものではありません。

Webセキュリティ機能

機能	詳細
不正プログラム対策	本体側での検索とクラウドデータを利用した検索に分散して処理することで、高い検出率を維持しながらも、遅延を抑えて軽快な処理を実現。
アプリケーションコントロール	日本独自のアプリケーションを含む1,000以上のアプリケーションをサポート。一部アプリケーションでは機能単位での制御も可能。
脆弱性検索	接続された端末に既知の脆弱性(攻撃に悪用されるソフトウェアの欠陥)がないかを検索可能。
Webレピュテーション	クラウド上のURLデータベースをリアルタイムに参照して、危険なWebサイトへのアクセスを自動的に遮断。
URLフィルタリング	約80種類のカテゴリとブロックリスト/セーフリストを設定することで、業務に不必要なWebサイトへのアクセスを規制。

ネットワークセキュリティ機能

機能	詳細
侵入防御 (IPS)	DPI ^{※3} エンジンと6,500を超えるルールによる脆弱性対策。
ファイアウォール	攻撃のみをブロックし、適切なアプリケーショントラフィックだけを通過させられるように、あらかじめ設定したルール・ポリシーに合わせて通信の制御が可能。
C&C通信制御	サイバー攻撃において攻撃者が指令を送ってくるC&Cサーバへの通信を検知・遮断することで、攻撃の連鎖を断ち切り、実害を防ぐ。
帯域幅制御	各インタフェースの通信量を制御。
LANバイパス	障害による接続遮断時も自動的に通信をバイパスし、トラフィックを維持。

※3 DPI (Deep Packet Inspection) とはパケットフィルタリングの一種で、パケットが通過する際にデータ部を検査することです。

運用管理機能

機能	詳細
クラウドコンソール	Cloud Edge管理コンソールをクラウド上に配置しているため、いつでもインターネットを経由してコンソールにアクセス可能。地理的に離れた複数のCloud Edgeのユーザアクセスログやセキュリティポリシーを管理可能。
ポリシー/プロファイル管理	セキュリティ機能をユーザ/アプライアンス単位で設定・管理可能。
ダッシュボード	運用に合わせて表示ウィジェットをカスタマイズ可能。
IoTデバイス検出	ネットワーク構成及び30種類以上のIoTデバイスが認識可能。
ログ分析/レポート	利用頻度の高いログクエリ条件を保存、定期的なレポート出力が可能。

製品ラインナップ

仕様項目		Cloud Edge SB G3 ^{※4}	Cloud Edge 50 G3	Cloud Edge 100 G3
筐体				
スループット ^{*1}	Firewall	2,541 Mbps	4,000 Mbps	5,002 Mbps
	Firewall+ウイルス対策 ^{※2}	273 Mbps	452 Mbps	1,258 Mbps
	Firewall+IPS ^{※2}	302 Mbps	497 Mbps	1,292 Mbps
	Firewall+ウイルス対策+IPS ^{※2}	273 Mbps	451 Mbps	1,208 Mbps
	HTTPs (ウイルス対策+IPS) ^{※2}	70 Mbps	118 Mbps	536 Mbps
インターフェース	WANポート	Gigabit Ethernet x 1		2.5 Gigabit Ethernet x 1
	LANポート	Gigabit Ethernet x 3		2.5 Gigabit Ethernet x 3
	管理ポート	1		
サイズ	外形寸法	幅 230 x 奥行 170 x 高さ 48 mm		幅 230 x 奥行 170 x 高さ 62.5 mm
	重量	1.1Kg		
冷却ファン		ファンレス仕様		
電源仕様	AC電源	100-240V、50/60Hz		
	消費電力	36W		
動作環境	動作温度	0°C ~ 40°C		
	保管温度	-40°C ~ 70°C		
	湿度 ^{※3}	5 ~ 90%		
同時接続推奨台数		20台	50台	100台

※1 CE100G3のみ異なる環境で測定しています。

※2 数値は弊社によるFirmware version 7.0を用いた測定結果となり、ご利用環境に応じて実測値は異なります。

※2 Persistent connectionを利用した環境で測定しています。

※3 非動作時かつ結露しないことが条件となります。

※4 ブリッジモードのみのサポートとなります。

詳しくは ▶ www.go-tm.jp/cloudedge

